



清里 まちづくり

No.17

企画・編集・発行 清里まちづくり協議会 事務広報部会

清里まちづくり協議会事務局

〒370-3573 前橋市青梨子町 339 清里公民館内

TEL251-9005 FAX255-0341

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

まえりあ清里

で検索

平成二十二年 度

清里まちづくり活動について

会長 鎌巢 昇三

清里まちづくり協議会は地域における支え合いや、自主・自立の強化を図りながら「心豊かで活力のあるまちづくり」をテーマに誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりを進めることを目的としています。しかし、去る五月二十六日(水)午後には清野町地内で小学生に対しての殴打事件という、まちづくり協議会の主旨に反するようなことがありました。清里地域の安全・安心できる暮らしが脅かされています。これからは今までと異なることが予測されますので、暴力・窃盗に対し、地域住民で力を合わせ、安全・安心のまちづくりに協力をお願いします。

平成二十二年より協議会は部会活動をより一層活発にいくために組織替えをいたしました。

- 一、花いっぱい運動部会
- 二、お花マップ、お花情報交換会など
- 三、食育部会
- 四、清里焼きの普及、郷土料理の見直しなど
- 五、社会福祉部会
- 六、ふれあいいきいきサロン
- 七、子育てサロン
- 八、そば打ち部会 定例会
- 九、福祉施設訪問、催事の参加
- 十、まちづくりだんべえ部会

だんべえ踊りの普及など
だんべえ部員募集中

六、郷土の伝統文化行事の活性化部会

清里ふるさと祭(清里花火を含む)の隔年開催、子ども夏祭、上青梨町の伝統盆踊り及び清野町の野良犬獅子舞の活性化支援

七、事務広報部会

まちづくり広報のさらなる拡充
八、清里公民館の地域づくり講座とまちづくり活動をタイアップして行うこと

各部会への多くの皆様のさらなるご理解とご参加をお待ちしております。

今後、清里地区では敬老会、体育祭、文化祭など各種行事を催しますが、全地区民で盛り上げ、楽しく和を作り、連帯感を養うために「自分たちのまちは自分たちの力で」という考えに立つてご協力をお願いいたします。

清里まちづくり協議会の役員決まる

今年度の清里まちづくり協議会総会が四月二十三日(金)に開催されました。まちづくりに係る協議はまちづくり検討委員会で行われてきましたが、前橋市指定から五年目を迎え、ある程度軌道にのってきましたので発展的に解消しました。今後は専門部会ごとの活発な活動を期待すると共に充実のための役員構成といたしました。皆様方のご協力をお願いします。(名簿は次頁)

子どもの安全を守る対策会議を開催

五月二十六日(水)午後、清野町交差点付近で発生した小学生児童の殴打事件の概要報告と清里地区としての今後の取り組みについて、清里地区内の関係団体役員四十数名が出席して「子どもの安全を守る対策会議」が六月十五日(火)午後七時から清里公民館で開催されました。近々に各町ごとに会議を開いて、見守りボランティアのお願いや黄色いたすきの作成など、子どもの安全を守る活動の具体化を目指していくことが確認されました。



児童の通学状況を今井敏子・清里小学校長が地図を使って説明する

平成22年度清里まちづくり協議会 役員名簿 (敬称略)

役職	氏名	所属団体・役職
会長	蜂巣 昇三	清里地区自治会連合会長・池端町自治会長
副会長	蜂巣 英夫	上青梨子町自治会長
副会長	田村 和夫	青梨子町自治会長
副会長	高橋 清	青梨子町前原自治会長
副会長	有坂 眞次	清野町自治会長
書記(顧問)	馬場 稜威夫	清里地区生涯学習奨励員連絡協議会長 (元・清里地区自治会連合会長)
会計	小池 直治	清里地区民生児童委員協議会長
監事	神保 守	清里地区教育振興会長
監事	松岡 好一	清寿会連合会長
顧問	松下 博寿	前・清里地区自治会連合会長
委員	自治会長(5)・教育振興会長(1)・生涯学習奨励員(5)・民生児童委員(6)・主任児童委員(2)・歴代自治会連合会長(2)・清里ボランティア会長(1)・農業委員(1)・JA 前橋市理事(1)及び代表監事(1)・清寿会本部役員(10)・防犯委員会(1)・子育て役員本部役員(8)・交通指導員(3)・少年補導員(5)・青少年育成推進員(5)・消防団長(1)・体育協会(1)・保健推進員本部役員(4)・更生保護女性会本部役員(6)・食生活改善推進員本部役員(2)・清里小学校 PTA 本部役員(4) ()内の数字は人数	

(専門部会)

部会名	部会長	副部会長
花いっぱい運動部会	櫻井 恭子	間仁田祐一
社会福祉部会	高橋 清	田村和夫・小池直治
食育部会	新井 博孝	桜井登志子
そば打ち部会	松岡 好一	森村信政
郷土の伝統行事の見直しと活性化部会	蜂巣 昇三	蜂巣英夫・有坂眞次・伊藤祝司
まちづくりだんべえ部会	松嶋 朋子	久保美佐子
事務広報部会	松下 熙雄	高橋 隆・桜井 勝

前橋地域づくり連絡会の活動報告

一、「前橋地域づくり連絡会」とは

前橋市内には、清里まちづくり協議会のように一定の地域を基盤とした地域づくり団体が平成二十二年四月現在で十八あります。清里地区の近隣では、総社地区、元総社地区、南橋地区などが挙げられます。

こうした各地域づくり団体の情報交換や連携活動のために設けられたものが、「前橋地域づくり連絡会」で、平成二十一年二月に結成されました。

主な活動は、「まえばし地域づくり推進大会」の開催や情報交換などです。「まえばし地域づくり推進大会」は、各地域づくり団体の活動発表の場で、例年四月に開催されています。

また、各団体の代表による会議を年に五回前後開催し、「前橋地域づくり推進大会」の準備や地域づくり活動に関する情報交換を行っています。

二、平成二十二年度まえばし地域づくり推進大会が開催されました。

去る平成二十二年四月二十四日(土)に前橋総合福祉会館で「平成二十二年度まえばし地域づくり推進大会」が開催されました。

推進大会では、各地域づくり団体の活動報告、地域づくりアドバイザーと各団体代表によるパネルディスカッション、各団体の活動内容の展示などが行われました。

今年度の推進大会は、新たな趣向を取り入れて、パネルディスプレイのコーナーを分散配置、各団体が活動の中で使用しているのぼり旗展示やユニフォームの着用、大会開始前のバンド演奏など、例年に増して賑やかなものとなりました。清里まちづくり協議会も、清里ふるさと祭や花いっぱい運動などの写真展示を行い、役員が清里祭りの法被を着て参加しました。

来年も四月前後に、より内容を充実させ開催される見込みとなっていますので、清里地区の皆さんの参加をお待ちしております。

(松下 均)



清里地区の活動が展示されたブース (今年度の地域づくり推進大会から)

清里公民館での取り組みから

①【地域づくり講座】

前橋市指定から五年目を迎えた地域づくり事業は、清里地域の生活課題や地域課題を取り上げ、地域ぐるみの活動を目指して各部会での諸事業が進展しています。地道に積み重ねてきた今までの活動がより多くの皆様の理解や協力、参画を得られ、清里地域全体の活動として盛り上がることを期待して、地域づくり事業とタイアップした形で地域づくり講座を開催します。取り上げる内容は、清里焼き（地場産の枝豆、玉ねぎを使用）に挑戦、清里に伝承される芸能再発見（清野町の野良犬獅子舞、上青梨子盆踊り、百万遍）、そば打ち体験などです。

②【清里公民館自主事業・清里地区文化祭】

清里の歴史や民俗、民話、史跡、文化財などを取り上げ小冊子にしてみました。「きよさと再発見」シリーズの第三集は「清里に伝わるわらべうた」を取り上げる予定。発行は九月頃の見込みで、清里地区文化祭（十月三十日予定）で出版記念発表会を行う予定です。ちなみに、昨年度発行の第二集「清里文化財めぐりハンドブック」では、小冊子を携帯しての文化財めぐりを二回にわたり実施しました。また、清里地区文化祭には「野良犬の獅子舞」のステージ発表も予定されています。

清里・まちの話題あれこれ

・青梨子町前原 河川の清掃

前原盛年会では六月六日（日）、全市民つせい清掃の後八時より前原地区の中心を流れる下蟹沢川の清掃を行いました。会員は



気持ちいい汗をかいた河川清掃

長靴をはいて川に入り、ビール類や金物ごみ等を拾い、川が深いのでロープで引き上げ、可燃ごみ不燃ごみに分別し、ゴミ袋に入れ川もきれいにしました。

・青梨子町 さつまいも行事

日時 平成二十一年六月五日（土）

午後三時より

場所 八幡川左岸（土木事務所より借り受け）

目的 世代間交流

参加者 小学生二十名、清寿会（役員）十名、各種役員団体役員十名
紅東を七百本植え込みました。

（田村和夫）

・上青梨子町 サルビアの苗植え

長年続いているサルビアの苗植えを六月二十日（日）に行いました。天候不順で心配されていた苗の育ちですが、夏の到来とともにサルビアの赤い花々が道行く人々の心を和ませてくれるでしょう。

（蜂巢英夫）

・池端町 ふれあいいきいきサロン

池端町のふれあいいきいきサロンが開始から一年が経過しました。この日（六月七日）は、二十三人の高齢者が出席し、ボランティアによる大型紙芝居などを楽しみました。

（蜂巢昇三）

・清野町 「清野はちまん広場」に決定

公園兼ゲートボール場の整備が着々と進んでいます。六年前に滑り台、フエンスとトイレが設置され、管理はゲートボール愛好会が行っていました。今回、市公園緑地課のはからいで、再整備を行う運びとなりました。特に力を入れたのが公園名です。子どもたちに名称募集をし四十四件の応募がありました。厳正な審査の結果、小峯梨花子さんの「清野はちまん広場」に決まりました。今後は愛護会を設立して、町民みんなが楽しめる広場にしていきたいと思えます。

（有坂眞次）

清里地区役職員研修会

歴史文化の松代からまちづくり学ぶ

六月四日（金）に「真田城下松代町の歴史を訪ねて」が開催されました。「目に青葉山ホトトギス初鯉」という俳句がぴたりするような初夏の快晴に恵まれた松代の歴史を探索することができました。

松代は太平洋戦争末期の本土決戦に備え、皇居、大本営、政府諸機関等を移転させるため地下壕が約10kmにわたり掘削されており、その見学をしました。それから山寺常山邸の書院や門、泉水池の見学、附近は歴史の道として行政も力を入れ整備されています。

昼食後、復元された松代城跡、真田宝物館、真田邸などの見学、藩が家臣及びその子弟の教育のために建てた文武学校が当時のままで存在し、得るものが多かったです。それから、旧白井家表門、象山神社や象山記念館も見学しました。また、松代が誇る旧横田家住宅（国重文）も見学しました。表門を入ると前庭があり玄関へ通じています。母屋、菜園、泉水、隠居屋、土蔵（二棟）があり中級武士の代表的な屋敷構えを残していました。

松代は、新しい町づくりを進め、松代の歴史的な文化遺産を保存、活用して、松代を「まるごと博物館」にしようという活動に取り組んでいます。たいへん充実した内容の研修会でした。

・そば打ち部会

「そば打ち部会」では、清里公民館で毎月一回(第二火曜日)、勉強会を開いています。会員の皆さんもだいたい腕を上げ、おいしいそばが打てるようになり、家族の方々に喜ばれているようです。地域の人たちに古き良き食文化の「そば打ち」をより普及させ、家庭でおいしいそばが打ちができる人が増えることを願っています。これからは、地域の皆さんにも、おいしいそばを食べる会も予定しておりますのでご希望の方には清里公民館にご相談ください。会として出張そば打ちをいたします。(松岡好一)



心をこめて丹念にそばを打つ

・社会福祉部会

社会福祉部会では民生児童委員、主任児童委員を主体に保健推進員、各種

団体役員、ボランティアの皆さんに協力をいただいで、清里地区全町でふれあいいききサロンを開催しております。お年寄りのふれあいの場ですので、ぜひ地域のサロンへお出かけいただき、楽しいひとときをお過ごしください。また、前橋高等養護学校とは一月に繭玉づくりなどを行いました。今後、より一層多くの事業で連携協力を行えたらと思います。(高橋 清)

・食育部会

私たち食育部会では、『清里焼き』を中心とした食育の視点からまちづくりに参加している部会です。今年の活動は、小学六年生を対象とした清里焼き教室を実施します。文化祭では清里焼きの販売もいたしますので、ぜひ一度食べてみてください。また食育部会では、手伝つて下さる方を募集しておりますので、興味のある方は清里公民館に申し出てください。(新井博孝)

・花いっぱい運動部会

梅雨入り前の六月七日(月)、花いっぱい運動にご協力いただいている皆さんと、長野県佐久方面へ視察研修に行ってきました。

当日は好天に恵まれて、残雪のアルプスを望むヴィラデストガーデンでは、クレマチス、シロミナグサなどの花と

ハーブを楽しみました。次に訪問したサムズガーデンは、バラの花には少し早かったのですが、キャンピオン、デルフォニウムなどたくさんの花がとも華やかに咲いていました。また、道沿いにはジャーマンアイリスや真っ赤なポピーが風に揺れていました。上田公園城跡では「シダレ桑」の並木道を見学、最後に珍しい花苗などを購入して、花を満喫した一日でした。(櫻井恭子)

・まちづくりだんべえ部会

私たちの活動も三年目を迎え、今年には世代間交流の活性化を目指し、親子で踊れる南中ソーランに挑戦します。小学校からテープを借りて、子どもたちとの練習も始めたばかりです。ぜひこの機会に一緒に踊ってみませんか。参加者募集しています。お問い合わせは清里公民館長まで。(松嶋朋子)



親子でだんべえ踊りを楽しむ

くわの実

「まちづくり広報」も今号からA3二つ折四頁に改訂し、内容の拡充を図ることにしました。

一、二頁はまちづくりの全体に関する記事、三頁は清里地区内各町の行事・活動の紹介、四頁は各専門部会からのお知らせ、お願い等の内容にしたいと思えます。

第一号から第十六号までは高橋隆さんが入力してくださいました。第十七号は桜井勝さんが入力してくださいました。ご二人のご苦勞に対し、皆様とともに深謝いたしたいと存じます。編集後記を「くわの実」としたのは、

まちづくりのシンボルツリーを「しだれ桑」としたことによりです。

その由来は、清里地区が昔から養蚕・製糸の盛んな地区であったので、その実績を後世に伝えるべく命名しました。

執筆にご協力いただいた方々に感謝申し上げます。多くの方からのご投稿をお願いいたします。(熙)



桑の葉をあしらった旧清里中学校の校章「清里中学校記念誌」(同記念誌刊行委員会)より